

ポラリス

札幌社会保険総合病院 院外広報誌

第20号

2011年4月



- 新年度を迎えて
- 医療の現場から①②
- 北辰メディカルフォーラム
- こんにちは 医療連携・相談室です
- 市民公開フォーラム
- きっずこーなー

ポラリスの由来

ポラリスは北極星を意味します。当院の前身である北辰病院の北辰もまた、ポラリスと同じ北極星を意味する言葉なのです。北極星のように、北国の中心で悠久に燦然と輝き続けたいという願いが込められているのです。題字は秦院長の直筆です。



URL <http://www.sapporo-shaho.jp/>

… 新年度を迎えて …

副院長 吉田 純 一



札幌社会保険総合病院にとりまして平成23年度は新中期3カ年計画の2年目に当たり、最終目標達成に向け更なる飛躍を遂げるべき年であります。さらには、我々社会保険病院を束ねる全国社会保険協会連合会にとっても重要な年で、我々は目標達成のために一層の努力が必要とされています。

そこに今回の東北関東大地震が発生しました。被災者のご苦勞、なくなられた方の無念を思うと深い悲しみに沈みます。勿論簡単ではありませんが、日本は必ず復興復活できると信じます。全世界も注目し応援してくれています。

ただし復興のビジョンが出来ているのか心配。再興した日本の姿を示すことが出来るのでしょうか。例えば、原発。唯一の被爆国である日本こそ、原子力の平和利用に範をたれねばなりません。関係者の皆さん、がんばって何とか治めてください。現在50基以上の原発が稼動していて、総発電量の30%位を占めている。私は消極的賛成派かつ基本的脱原発論者ですが、この分を不安定電源である水力、太陽光、風力、地熱・・・で補うにはまだまだ無理です。話が飛ぶようですが、少子化が大変な問題とされています。我が日本国は四季の移い美しく、緑豊かで水のきれいなすばらしい国ですが、いかんせん小さな島国、さらに平らな所はホンの少し。この国土にはどのくらいの人口がふさわしいのか、きちんと考えている人はいるのだろうか。などと妄想中です。

それにしてもまずは目の前の壊滅的状况からの脱出に、我々も出来る限りの手助けを惜しんではいけません。そしていつまでも悲しんでばかりもおられず、いつも通り、いやいつも以上に活発に活動しなければなりません。そうすれば、北海道が東北が、そして日本が元気になるでしょう。そうでなければ札幌社会保険総合病院の存在も、儚い物になってしまうでしょう。

今年は特別な年になりました。

がんばれ東北

がんばる北海道

負けないぞ日本

医療の現場から①

甲状腺外来を始めるにあたって

副院長兼健診センター長 佐々木 文章



皆様お気づきでしょうか、平成22年11月中旬から甲状腺外来として診療を始めました。甲状腺腫瘍を有する人、健診で甲状腺が大きいと指摘された人、甲状腺ホルモン検査で異常を指摘された人はたくさんいらっしゃいます。しかし厚別地区に甲状腺を専門に見てもらおうところがなく、この要望にこたえるために専門外来を始めました。

甲状腺疾患としては、①甲状腺ホルモン異常をきたす慢性甲状腺炎（橋本病）とバセドウ病、②甲状腺の腫瘍性疾患（がんと良性腫瘍）があります。甲状腺疾患は女性の方に多く見られます。健診などで甲状腺が全体的に腫れていることを指摘されて来院する方の多くは慢性甲状腺炎です。慢性甲状腺炎は甲状腺ホルモンが低下してくれば（実際には甲状腺刺激ホルモンTSHをみて決めています）甲状腺剤を服用してもらいますが、

